

解 答

□

問一 A とても多い B ひとりでに

問二 イ

問三 a エ b ア c カ d イ

問四 奥のほうから突然動き出し、無言で人を押しのけ、ドアに向かって移動する人間。

問五 I 四苦八苦 II 以心伝心

問六 (1) 喫茶店でウェイトレスと客とが、事務的な会話と応対だけで、後は沈黙してしまうこと。

(2) 無意味なる会話

問七 日本の文化では、おしゃべりせず黙々と働くことが美徳とされ、さらに、言葉を使わずに社会を維持できたため、多くの日本人が会話術を身につける機会を持たなかったから。

問八 ウ

□

問一 中学生にもなって親につきそわれるのはわずらわしく、窮屈だ。

問二 オ

問三 おうむ

問四 イ

問五 (1) 父一人子一人という家庭環境で、友だちづきあいよりも、大人の中で母がわりの務めを優先するような状況。

(2) エ

問六 エ・カ

□

① 補う ② 直ちに ③ 敬う ④ 営む ⑤ 量る ⑥ 険しい

解 説

□

問四 傍線②の直前に指示語「この」がありますから、指示語の指し示す内容を考え、どのような人を「モグラ」に例えているのかを説明をした部分を探します。「満員電車から降りるときに、無言で人を押しのけ、ドアに向かって移動する人々」の様子を「モグラ」に例えています。また、「突然に、奥のほうから無言のモグラが動いてくる」ともあります。「突然に、奥のほうから」「無言で人を押しのけ」で「移動する」人間を、「モグラ人間」といつているのですね。

問六 傍線③「これ」が指し示しているのは、前の喫茶店の具体例です。内容を簡単にまとめると、喫茶店に来た客とウェイトレスとの間に事務的な会話と事務的な応対だけがなされ、後は沈黙に終始したというものです。日本人が「沈黙民族」であることを説明する具体例ですから、「事務的」な会話と応対、「沈黙」し続けたということが必須の要素になります。

問七 「日本文化が沈黙によって支配されているのは、いったいなぜか」という問いかけの文の後に、三点の理由が述べられています。日本文化では、①おしゃべりをせずに黙々と働くことが美徳とされたこと。②「もの言うすべ」（会話術、弁論術）を身につける機会がなかったこと。③以心伝心式の方法で社会が十分に維持されてきたこと。これらの三点をまとめて、書き出しを「日本の文化では」、あるいは「日本の社会では」としてから説明するのがよいでしょう。

□

問一 「けむたそうに」は「気楽になれない、窮屈だ」の意味を表します。小学校を卒業して中学生になった子供にとって、いつまでも親がそばにつきそっているのは、なんだか監視されているように感じるのでしょうか。まるで自由を束縛されているように思い、窮屈に感じるのだと思われます。子供たちは親から自立する時期を迎えているのでしょ

問五 「冬」「暗い」「寒い」という言葉はマイナスの意味を表します。物語では自然描写などに登場人物の心情や状況が反映されることが多いのです。「暗い」「寒い」というイメージに重なる「あかり」のマイナスの要素を探します。一人っ子で、お母さんがいないこと。また、母の代わりに務めだと大人びた感じになり、友だちづきあいよりも母の代わりに務めを優先せざるを得ないような状況では次第に同年齢の友達も減ってしまうことでしょう。このように、「あかり」の孤独でさびしい状況を説明しましょう。